

クリスマス会

12月13日、学園では一足早いクリスマス会が行われました。毎年恒例の田村サンタさんからのプレゼントを頂き、伊豆今井浜東急ホテルさんからは美味しいケーキを沢山頂きました。

ケーキやプレゼントが目の前に並ぶと子どもたちの目はキラキラと輝き、幼児も高校生もみんな頬を赤くして喜んでいました。給食さんが子どもたちのリクエストを聞いて作ってくれた御馳走を食べながら、今年はフラダンスサークルのNaLeiHiwaOKaLaさんが演じる素敵なダンスに大盛り上がり。冬の寒さも吹き飛ばす熱気と歓声に包まれて楽しい時間となりました。



クリスマスプロレス いつもありがとう ございます!

12月26日、川奈臨海学園にて第6回里親プロレスが行なわれ、地域の方を含め約60名が観戦しました。一日遅れのクリスマスプレゼントということで、人材育成を手掛ける(株)ザメディアジョン代表の山近義幸さんが企画して下さいました。今回の里親プロレスには、TAKAみちのくさんが昨年旗揚げをした「JUST TAP OUT」のレスラー8名が出演。試合前には、静岡県のご当地アイドル「オレンチェ」が2曲熱唱し、会場の空気を温めてくれました。いざ試合が始まると子どもたちから自然と声援が湧き上がりました。一生懸命レスラーを応援している子どもの姿にレスラーも熱くなり、熱戦を2試合繰り広げてくれました。試合後は数分前に試合が行なわれていたリングに上がってプロレス体操をしました。レスラーの指導の下、前転や後転などを行ない、子どもたちは大興奮。最後に子どもから「また来年も来てほしい」とお願いされ、TAKAみちのくさんは「自分たちも大きくなって来年来るので、みんなも勉強や運動を頑張ってください」と子どもたちと約束をしていました。



主任
鈴木 一大

2020年のクリスマスも楽しく迎えるために、みんなが1年を元気に仲良く過ごせるよう見守っていきたくと思います。



児童指導員
太田 和子



東海道シグマ

東海道シグマは主に就労支援や就活についての業務を行っている企業で、静岡県内で事業を展開しています。静岡市葵区に教育事業部があり、沼津市では「ジョブステーション」という事業所で就労に関しての相談や支援を行っています。

去年に引き続き、静岡県から児童養護施設入所児童に対しての自立支援事業の委託を受け、ジョブステーションに就職コーディネーターとして勤務している露木氏より川奈臨海学園の高校3年生2人に対し、就職するために必要な知識や、就職後に必要な「一人暮らしに関する知識」などを月に一回のペースでレクチャーして頂いています。児童養護施設に入所している高校生は卒業とともに退所し、就職する児童が多いことが現状です。しかし人間関係が上手くいかず入社から1年ほどで退職してしまう児童も多いため、退所までの間に自立支援の取組が必要不可欠です。児童養護施設にとって東海道シグマのような自立支援に関して専門的に関わりを持ち支援して下さる企業の必要性は増すばかりです。今後、児童の自立支援に関しての取り組みが定着し成果が上がるよう外部団体と協力しながら努力していきたくと思っています。

職業指導員
岩田 弘和

餅つき

12月21日に学園で餅つきを行いました。子どもたちは職員が杵を高く上げ餅をつく様子を見ると「おおー!」「力強い音!」と驚きや歓声をあげていました。

子どもたちもその様子を見て、負けじと「よいしょ。よいしょ」と大きな声を出しながら重たい杵を力強くあげ、餅をつきました。餅をつき終わる頃には子どもたちはへとへとに疲れていましたが、上手につけたことに満足をしている様子でした。ついた餅は昼食時にお雑煮として食べました。「美味しい」「疲れたけど頑張ったね」などの会話が弾んで、良い体験が出来たと思います。

保育士
梅原 優也



八景島シーパラダイス!

12月27日、学園にいる子どもたちと一緒に「横浜・八景島シーパラダイス」へ行ってきました。

シーパラダイスに到着すると、まずは児童全員でオリジナルキャラクターの「シーパラ・シー太」の前で記念撮影をしました。その後は少人数のグループに分かれ、それぞれでシーパラダイスを満喫しました。動物園と水族館が融合したコーナーでは、あまり見たことの無いような珍しい動物や、不思議な模様の魚たちに子どもたちは興味津々で、目が釘付けになっていました。アーチ型の水槽をくぐる時には、「自分たちが水槽の中に居るみたい!」「本当にそうだね!」と可愛らしい会話が聴こえてきました。

今回のおでかけはNHK歳末たすけあい助成金をはじめとする皆様から頂いたご寄附をもと

海ホテル クリスマス会

12月25日のクリスマスの日、伊東市宇佐美にある『海ホテル』にて行われたクリスマス会にご招待を頂きました。

海ホテルのテラス席にてクリスマス会が始まると、子どもたちの席にかわいらしいシフォンケーキが運ばれてきました。イチゴソースやアイスクリームも乗っており、子どもたちは「おいしそう!食べるのがもったいない!」と言いつつも、ジュースを飲みながらパクパクとケーキを口に運んでいました。食後は周りを少し探検し、クイズをしたり足湯に入ったりと、のんびりと過ごしました。最後のバイオリン演奏では、迫力のある音に子どもたちは目を丸くしていましたが、ディズニーの知っている曲になると、一緒にリズムを取っていました。ボイスパーカッションの催しものもあり、マイクから流れる音に「すごい!すごい!」とはしゃいでいました。帰る時にはお菓子の土産も頂き、楽しい思い出がいっぱいのクリスマスを過ごすことが出来ました。このようなご縁を今後も大事にしていきたいと感じました。

児童指導員
大高 英也



に行うことができました。子どもたちへのご支援、誠にありがとうございます。おかげさまで子どもたちは楽しい時間を過ごすことができました。きっと忘れられない1日になったことと思います。

保育士
綿貫 ころろ



みんなで
記念撮影 